

2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社AIR-U 上場取引所 東
コード番号 5135 URL https://air-u.jp
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)田中 康之助
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)半田 祐樹 (TEL) 03(6277)6692
定時株主総会開催予定日 2025年3月25日 配当支払開始予定日 ー
発行者情報提出予定日 2025年3月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	12,934	8.3	1,942	13.8	2,028	15.8	1,320	15.5
2023年12月期	11,942	18.1	1,706	48.2	1,752	51.5	1,143	55.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	220.07	—	34.3	36.0	15.0
2023年12月期	190.53	—	44.0	42.3	14.3

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 ー百万円 2023年12月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	6,379	4,645	70.8	752.57
2023年12月期	4,876	3,237	65.2	529.67

(参考) 自己資本 2024年12月期 4,515百万円 2023年12月期 3,178百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	1,253	△281	△48	3,614
2023年12月期	1,364	△426	△73	2,691

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間	期末	合計			
2023年12期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2024年12期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	0.00	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,170	9.6	2,264	16.6	2,300	13.4	1,504	13.9	250.76

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年12月期	6,000,000株	2023年12月期	6,000,000株
2024年12月期	—株	2023年12月期	—株
2024年12月期	6,000,000株	2023年12月期	6,000,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当期の経営成績の概況	2
（2）当期の財政状態の概況	3
（3）当期のキャッシュ・フローの概況	3
（4）今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
（1）貸借対照表	5
（2）損益計算書	7
（3）株主資本等変動計算書	8
（4）キャッシュ・フロー計算書	10
（5）財務諸表に関する注記事項	11
（継続企業の前提に関する注記）	11
（会計方針の変更）	11
（セグメント情報等）	11
（持分法損益等）	11
（1株当たり情報）	11
（重要な後発事象）	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、【つなぐチカラで、人々を幸せに】をミッションとし、「いつでも、どこでも、だれとでも」つながることのできる「安心・安全で快適な」コミュニケーション環境を提供することにより、人々を幸せにし、人類・社会の進歩発展に貢献することを使命としています。

また、【GLOBAL SERVICE PROVIDER～国境を越えたすべての「当たり前」を。～】をビジョンとし、世界中をシームレスにつなげるモバイル通信サービスを提供することにより、三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）を実現することを目指しています。

現況として当事業年度における我が国経済は、円安の影響を受けながらも、訪日旅行者数がコロナウィルス感染症流行前を上回る累計3,687万人に達するなど、回復基調が続いております。

このような状況の中、当社の自社ブランド再販事業における訪日旅行者向けプリペイド物理SIMの販売が堅調に推移しました。特に、海外現地販売を中心とした販路拡大、併行して来日後に購入出来るタッチポイントの拡大、通信キャリアからの再販提供プラン強化施策などにより、一定の成果を上げる事が出来ました。

2025年度に向けては、国内販売拠点の拡大および海外現地キャリアによる販売強化などを予定しており、更なる成長を見込んでおります。

国内通信事業を中心とした自社ネットワーク/キャリア再販事業は、大手通信事業者とのアライアンス開始、昨年度導入した大容量プランの好調な推移、およびモビリティ事業者へのIoTプラン提供開始などにより、想定を上回る成長を遂げました。

2025年度においては、帯域原価の圧縮が予定されており、5G通信を中心とした大容量トラフィックの利用拡大を見据えたサービス強化を進めてまいります。また、適正な帯域運用を通じた拡販を予定しております。

当社のクラウドサービス運用事業については、2022年以降のテレワーク需要の沈静化により、自治体からの一定の解約が発生したこと、また、日本人による海外利用が依然として回復基調にないことなどから、端末売上が減少し、前年同期比で売上減の結果となりました。一方で、通信原価の圧縮により利益面では安定した推移を維持しております。2025年度には、新端末のリリースおよび完全従量制モデルの導入を予定しており、年度内での販売拡大を目指します。

2023年度に開始した「e-プラットフォーム事業」では、eSIM対応端末の普及が加速していることを受け、販売拠点の拡大を進めております。また、海外現地での事前インストール対応など、eSIMの特性を活かした当社独自の仕様を強化し、利用促進を図っております。2025年度においては、海外決済事業者との販売連携やアプリ事業者によるサービス提供を予定しており、更なる販売拡大を推進してまいります。

その他の事業（営業業務受託、デバイス販売など）では、テレワーク需要の落ち着きによるデバイス購入の減少や、業務受託契約の終了に伴い、前年同期比で売上が減少しました。今後も市場動向を注視しながら、適切な事業運営を行ってまいります。

これらの結果、当事業年度の売上高は12,934百万円(前年同期比8.3%増加)、営業利益は1,942百万円

(同13.8%増加)、経常利益は2,028百万円(同15.8%増加)、当期純利益は1,320百万円(同15.5%増加)となりました。

全社合計 (百万円)	2023年12月期	2024年12月期	対前年比
売上	11,942	12,934	108.3%
原価	9,381	10,069	107.3%
販管費合計	854	922	107.9%
営業利益	1,706	1,942	113.8%

部門別 (百万円)	2023年12月期	2024年12月期	対前年比
自社ブランド再販事業	1,840	2,222	120.7%
自社ネットワーク/キャリア再販事業	5,963	7,018	117.7%
クラウドサービス運用事業	3,928	3,380	86.0%
e-プラットフォーム事業	133	271	203.0%
その他の事業	75	40	53.7%
合計	11,942	12,934	108.3%

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の財政状態につきましては、次のとおりです。

(資産の部)

総資産は6,379,723千円(前期末比1,503,392千円増)となりました。流動資産につきましては5,293,734千円(同1,136,066千円増)となりました。これは主に、現金及び預金の増加903,002千円、売掛金の増加356,379千円、前渡金の減少77,354千円等によるものです。

固定資産につきましては、1,085,989千円(同367,325千円増)となりました。これは主に、投資有価証券の増加346,764千円、保険積立金の増加29,279千円等によるものです。

(負債の部)

総負債は1,734,065千円(同95,344千円増)となりました。流動負債につきましては、1,711,290千円(同115,178千円増)となりました。これは主に、買掛金の増加269,489千円、未払金の減少58,315千円、未払法人税等の減少40,244千円、未払消費税等の減少37,409千円等によるものです。

固定負債につきましては、22,774千円(同19,833千円減)となりました。これは主に、社債の減少20,000千円、長期資産除去債務の増額166千円によるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては4,645,658千円(同1,408,047千円増)となりました。これは、主に当期純利益1,320,450千円、新株予約権の増加70,622千円、その他有価証券評価差額金の増加16,974千円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の残高は3,614,909千円(前期末比923,002千円増)となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,253,199千円となりました。これは主に税引前当期純利益2,020,714千円、法人税等の支払による支出754,885千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は281,837千円となりました。これは主に有価証券の取得による支出295,307千円、定期預金の払戻による収入20,000千円、投資有価証券の償還による収入38,018千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は48,359千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出8,359千円、社債の償還による支出40,000千円によるものです。

(4) 今後の見通し

2022年10月の入国規制緩和以降、国内外の人流は活発化しており、訪日旅行者数も回復傾向にあります。

2024年度の訪日旅行者数は3,687万人（前年2,506万人）となり、2025年度には4,020万人（前年対比108.9%）が予想されています。

当社のインバウンド向け通信サービス（自社ブランド再販事業）は、この流れを受けて更なる拡販が見込まれます。また、2023年に開始した「e-プラットフォーム事業」も各方面から高い評価を得ており、本年度中にeSIM対応端末向けのサービスの強化（インバウンド・アウトバウンド双方対応eSIMサービス）を実施する予定です。

さらに、2025年1月よりアウトバウンド向けeSIMサービスを開始しており、大手事業者とのアライアンスを通じた海外渡航者向けのサービス展開を強化してまいります。2025年度の海外渡航者数は1,410万人（前年対比108.5%）と予想されており、現地で手軽に利用出来る通信サービス（翻訳機能、リアルタイムチャットボット、観光案内の提供）の構築を進めております。

クラウドサービス運用事業では、新端末のリリースおよび新プランによる販売強化施策を実施し、国内販売の拡大と海外利用の増加を見込んでおります。

自社ネットワーク/キャリア再販事業においては、5G通信によるネットワーク品質の向上を推進し、大容量プランに対応できる帯域運用を最適化するとともに、低容量トラフィックを活用したモビリティ通信の提供を強化する方針です。これにより、当社の通信サービスの競争力をさらに高めてまいります。

また、当社では訪日外国人および海外渡航者向けに、音声対応を必要としない「AIチャットボット」によるユーザー対応を2024年2月より開始しました。

当社では24時間対応の多言語カスタマーセンターを提供しておりますが、音声通話が利用出来ないユーザーに対して、チャットボットによるサポート（設定案内、現地観光案内、移動方法、タクシー配車など）を提供する事で、販売パートナー企業の負荷軽減およびユーザーエクスペリエンスの向上を図ってまいります。

また、本システムを活用することで、ユーザーの利用動向や現地での課題を把握し、販売パートナー企業と連携しながら更なるサービス品質向上に繋げていく考えです。

このような環境のもと、次期（2025年12月期）の業績見通しにつきましては、売上高14,170百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益2,264百万円（同16.6%増）、経常利益2,300百万円（同13.4%増）、当期純利益1,504百万円（同13.9%増）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済環境や市場動向など、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

部門別の売上予想は下記の通りとなっております。（販管費予測は933百万円）

2025年度 部門 (百万円)	売上予測	売上昨年対比
自社ブランド再販事業	2,391	107.6%
自社ネットワーク/キャリア再販事業	7,999	114.0%
クラウドサービス運用事業	3,194	94.5%
国内e-プラットフォーム事業	499	184.0%
グローバルe-プラットフォーム事業 ※1	47	—
その他の事業	37	92.6%
合計	14,170	109.6%

※1新規事業となる為、売上昨年対比はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,711,906	3,614,909
売掛金	1,033,928	1,390,308
商品及び製品	258,148	231,599
前渡金	77,354	—
前払費用	18,419	16,298
未収入金	5,822	2,698
有価証券	28,093	37,899
敷金	23,994	—
その他	—	21
流動資産合計	4,157,667	5,293,734
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	54,985	42,711
車両運搬具(純額)	1,903	1,267
工具、器具及び備品(純額)	8,723	6,013
建設仮勘定	8,415	8,415
有形固定資産合計	74,027	58,407
無形固定資産		
ソフトウェア	2,500	3,000
無形固定資産計	2,500	3,000
投資その他の資産		
子会社株式	—	1,000
投資有価証券	326,996	673,761
出資金	10	10
敷金及び保証金	144,680	144,680
繰延税金資産	70,776	76,176
保険積立金	99,673	128,953
投資その他の資産合計	642,136	1,024,581
固定資産合計	718,664	1,085,989
資産合計	4,876,331	6,379,723

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	843,303	1,112,792
一年内償還予定の社債	40,000	20,000
一年内返済予定の長期借入金	8,359	—
未払金	157,116	98,801
未払法人税等	433,409	393,164
未払消費税等	86,336	48,926
その他	27,588	37,605
流動負債合計	1,596,112	1,711,290
固定負債		
社債	20,000	—
その他	22,608	22,774
固定負債合計	42,608	22,774
負債合計	1,638,720	1,734,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,132,667	4,453,117
利益剰余金合計	3,132,667	4,453,117
株主資本合計	3,162,667	4,483,117
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,359	32,333
評価・換算差額等合計	15,359	32,333
新株予約権		
新株予約権	59,584	130,207
新株予約権合計	59,584	130,207
純資産合計	3,237,611	4,645,658
負債純資産合計	4,876,331	6,379,723

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自2023年1月1日 至2023年12月31日)	当事業年度 (自2024年1月1日 至2024年12月31日)
売上高	11,942,938	12,934,430
売上原価	9,381,511	10,069,571
売上総利益	2,561,426	2,864,858
販売費及び一般管理費	854,746	922,281
営業利益	1,706,680	1,942,577
営業外収益		
受取利息	20	285
有価証券利息	604	18,153
為替差益	—	66,354
受取補償金	39,568	—
雑収入	18,863	1,547
営業外収益合計	59,055	86,341
営業外費用		
社債利息	493	333
為替差損	12,689	—
営業外費用合計	13,183	333
経常利益	1,752,553	2,028,584
特別損失		
固定資産除却損	—	7,870
特別損失合計	—	7,870
税引前当期純利益	1,752,553	2,020,714
法人税、住民税及び事業税	642,867	714,640
法人税等調整額	△33,524	△14,376
法人税等合計	609,342	700,263
当期純利益	1,143,210	1,320,450

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2023年1月1日 至2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金		株主資本合計
		その他利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	30,000	1,989,456	1,989,456	2,019,456
当期変動額				
当期純利益		1,143,210	1,143,210	1,143,210
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	1,143,210	1,143,210	1,143,210
当期末残高	30,000	3,132,667	3,132,667	3,162,667

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△5,346	△5,346	—	2,014,110
当期変動額				
当期純利益				1,143,210
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	20,705	20,705	59,584	80,290
当期変動額合計	20,705	20,705	59,584	1,223,500
当期末残高	15,359	15,359	59,584	3,237,611

当事業年度(自2024年1月1日 至2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金		株主資本合計
		その他利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	30,000	3,132,667	3,132,667	3,162,667
当期変動額				
当期純利益		1,320,450	1,320,450	1,320,450
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	1,320,450	1,320,450	1,320,450
当期末残高	30,000	4,453,117	4,453,117	4,483,117

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	15,359	15,359	59,584	3,237,611
当期変動額				
当期純利益				1,320,450
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	16,974	16,974	70,622	87,596
当期変動額合計	16,974	16,974	70,622	1,408,047
当期末残高	32,333	32,333	130,207	4,645,658

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自2023年1月1日 至2023年12月31日)	当事業年度 (自2024年1月1日 至2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,752,553	2,020,714
減価償却費	8,634	8,745
固定資産除却損	—	7,870
株式報酬費用	59,584	70,622
受取利息及び受取配当金	△20	△285
有価証券利息	△604	△18,153
為替差損益(△は益)	12,689	△66,354
社債利息	493	333
売上債権の増減額(△は増加)	△62,011	△356,379
棚卸資産の増減額(△は増加)	61,134	26,549
前渡金の増減額(△は増加)	△77,354	77,354
未収入金の増減額(△は増加)	△5,822	3,124
仕入債務の増減額(△は減少)	5,766	269,489
未払金の増減額(△は減少)	84,740	△16,771
未払費用の増減額(△は減少)	13,420	11,791
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,738	△37,409
その他	471	6,892
小計	1,875,416	2,008,133
利息及び配当金の受取額	20	285
利息の支払額	△493	△333
法人税等の支払額	△510,916	△754,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,364,026	1,253,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	20,000
有形固定資産の取得による支出	△5,568	△42,439
無形固定資産の取得による支出	△2,500	△600
資産除去債務の履行による支出	—	△6,400
子会社株式の取得による支出	—	△1,000
投資有価証券の取得による支出	△297,185	△295,307
投資有価証券の償還による収入	—	38,018
敷金・保証金の差入による支出	△109,062	—
敷金・保証金の返還による収入	5,000	23,994
保険積立金の積立による支出	△17,592	△18,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426,909	△281,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33,324	△8,359
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,324	△48,359
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	863,792	923,002
現金及び現金同等物の期首残高	1,828,113	2,691,906
現金及び現金同等物の期末残高	2,691,906	3,614,909

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、通信事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社が有しているすべての子会社は、利益基準及び利益剰余基準からみて重要性の乏しい非連結子会社であるため、記載事項を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	529円67銭	752円57銭
1株当たり当期純利益金額	190円53銭	220円07銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	1,143,210	1,320,450
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,143,210	1,320,450
普通株式の期中平均株式数(株)	6,000,000	6,000,000

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度末 (2023年12月31日)	当事業年度末 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,237,611	4,645,658
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	59,584	130,207
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,178,026	4,515,451
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,000,000	6,000,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。